

# 中間支援活動助成事業

NPO 法人さんびいす

## 基本事業：淡路市での中間支援ネットワークの構築事業

### 1. 事業が目指すもの

淡路市において、専門分野の異なる複数の団体と行政、市民のネットワークを作り、ネットワーク型の中間支援組織の立ち上げと、この活動に参加する新たな担い手の発掘をおこなう。

### 2. 事業の概要

過去2年間、都市部（芦屋市）と地方（淡路市）における中間支援に関するニーズの検証をおこなった結果、淡路島の3市（淡路市、洲本市、南あわじ市）の中でも、淡路市にだけ中間支援組織が無いため、支援を受けるため島外の神戸や明石まで時間と交通費を使い通うか、相談先が無く活動を始められない市民や団体が多い事がわかった。そこで、1つの団体で幅広い中間支援を担うのは難しいので、専門分野が異なる淡路市で活動をしている団体や個人、行政をネットワークさせることで、ネットワーク型の中間支援組織の立ち上げをおこなう

### 3. 成果と課題

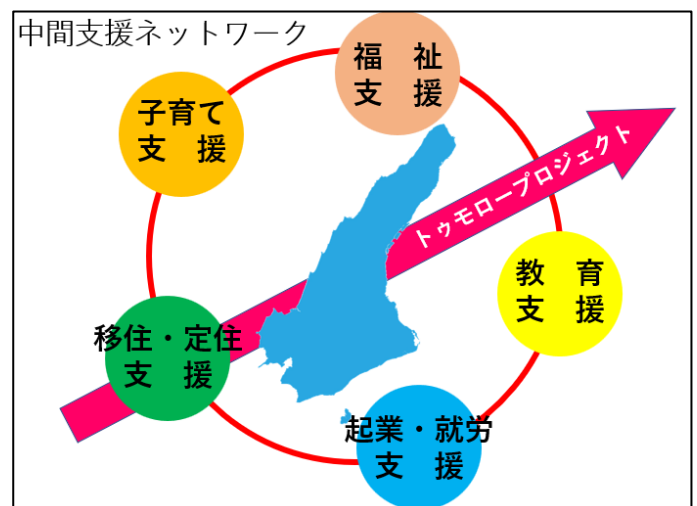
企画立案事業として実施した「淡路島の未来を考える トゥモロー会議」を3回開催し、会議参加したNPOを中心に、新たな中間支援ネットワークの立ち上げが決まった。しかし、淡路市にはNPOや市民活動に関する窓口となる部署（他市の市民参画課やまちづくり推進課など）が明確に無い為今年度すぐに、行政との協働を実現するまでには至らなかった。

しかし、中間支援ネットワークに参加するNPOと淡路市の行政の間には、個別のネットワークがあるため、来年度以降、中間支援ネットワークとの協働の道筋についても協議を進めていきたいと考えている。

### 4. 今後の展望、成果の活用

令和4年3月中旬に、中間支援ネットワークのホームページを公開し、令和4年度より中間支援の窓口として活動を開始する。

淡路市内の市民活動に関する相談事業や助成金等の情報発信や書類作成指導、人材育成事業などの窓口を一本化できる事から、市内で市民活動を行いたいと思っている団体や市民の受け皿となり、新たな人材の発掘、育成へとつなげていけるので、出来上がったばかりの中間支援ネットワークの成長支援を引き続き行っていく予定である。



# 企画立案事業：淡路島の未来「トゥモロープロジェクト」事業

## 1. 事業が目指すもの

今年度立ち上げる淡路市の中間支援ネットワークに参画する団体スタッフの人材育成と、今後新たに参画してくれる可能性のある新たな人材の発掘をおこなう。

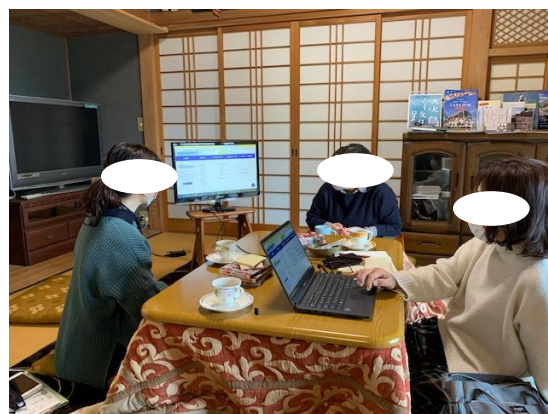
## 2. 事業の概要

淡路市と淡路島の未来を考える「トゥモロー会議」という交流会を年度内に3回開催し、この交流会を通じ、淡路市や淡路島の近未来構想を一緒に考えることで、共有する「理念」や「目標」を作り出し基本事業で立ち上げる「淡路市における中間支援ネットワーク」の指針作りと人材の発掘を行う。



## 3. 成果と課題

令和4年度に入り、新型コロナウイルスの感染拡大の第6波の影響もあり、なかなか参加者が一同に会するリアルな集まりは難しいものの、淡路市の地元で商業活動をおこなっている若手の店主や他の地域から移住し、これから淡路市の住民や子ども達と深く交流を続けていきたいと考えている移住者やUターン転職者など、幅広い分野の協力者との出会いがあり、市内・島内からの自主的な改善に対する熱量も感じる事が出来た。また、今回の活動を通し市民団体だけでなく、行政にも市民活動支援を担っている部署が明確にされていない事も判明した為、来年度は行政との協働についても前進させられたらと考えている。



## 4. 今後の展望、成果の活用

今年度末に、中間支援ネットワークのホームページをオープンさせ、ネットワークでの中間支援を来年度から本格的に開始していく。

この為、今年度、トゥモロー会議に参加頂いた方と、その周辺の方を中心に、トゥモロー会議も、引き続き定期的に開催し、参加者間の情報共有、交流、地域の課題解決の場としていきたい。

